

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース)

留学(中間・結果)報告書

甲府第一高校

宮本 真優

私が中学1年で初めて経験したホームステイは、学校のプロジェクトで日本の英語教育について探究したことから留学を決意し、アメリカのユタ州で留学してきました。留学の一番の目標は、アメリカの言語教育を体験すること、他の留学生と話しをし、いろいろな国の英語教育について学ぶことでした。現地で生活し、学校に通い、ホストファミリーの一員として過ごすことは私が想像していたより大変なこともありましたがそれと同時に、想像以上に楽しく、そしてたくさんのお話を吸収することができました。今回は私の全体の留学生活、そしてアメリカ、言語教育について話したいと思います。

まずは全体の留学生活です。私が住んでいるユタ州、プレゼントビューは山梨に本当によく似た町です。山が近くにあり、田舎です。ご存知の通りユタはスキーが有名で、雪がたくさん降ります。放課後から夜まで友達とスキーに行ったりしました。ユタはモルモン教の人が58%と多く、面白い宗教です。18(女性は19)才になったら伝道活動のため国内だけでなく海外で2年間(女性は1年半)生活をしたり、お酒、コーヒー、お茶等は飲めません。また、家族をととても大切にしており、毎週月曜日の夜にはファミリーホームイブニングといって家族で時間を過ごします。また日曜日は教会の後は家族でボードゲームをしたりして過ごします。日本では仕事、学校が第一優先になっていますが、こちらでは家族が一番です。だから私ももっと家族との時間を大切にしたいと思いました。私のホストファミリーは、キャンプが好きなファミリーで、ユタの北にある湖へ行き、ボートに乗ってキャンプをしました。とても自然がきれいで天の川も見れました。私が通っていた学校はWeber High Schoolといい、2000人を超える3学年の生徒が通っていました。16歳から車の免許がとれるので通学はほとんどの人が車です。お昼ご飯にマックへ行っている人もいました。帰りの駐車場は大渋滞です。授業は卒業に必要な授業と自分の興味のある授業が取れます。私は教育について興味があったのでTeaching as profession(TAP)という教育について学ぶ授業をとりました。他にもビジネスやエンジニア等の授業がありました。部活はスポーツではトライアウトがある競技が多く、男子のフットボールやバスケットは多くの方が応援しに行きます。フットボールは国民的行事で学校でも盛大に応援していました。学校の全校集会も日本では静かに体育座りをするのが基本ですが、アメリカはパーティーみたいな雰囲気でした。学校自体、日本と違うところが多く、戸惑うことも多かったですがとても貴重な経験になりました。

次にアメリカ、世界の言語教育について私が8ヶ月間で学んだことについて書きたいと思います。まず、アメリカの言語教育について学びたいと思ったので、スペイン語の授業をとりました。授業のはじめに習ったことを声に出して復習する時間が毎時間あり、また繰り返し何回も発音の練習をする時間が多かったです。先生は、伝道活動でスペイン語圏のアルゼンチンに2年間過ごしたため、スペイン語がペラペラでした。その当時の話もたくさんしてくれてと

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学結果報告書

でも面白かったです。課題でスペイン語圏の国の文化や食生活について調べてレポートを出したりなど、言語を学ぶだけでなく、文化を学ぶことも多かったです。私は言語とその国の文化は深く関わっていると思っているので、先生の授業はいい方法だなと思いました。また、教育実習生でメキシコからの先生が2ヶ月ほどいて、多文化のアメリカだなと思いました。その先生はネイティブなので発音を教えてくれたり、文化についても教えてくれました。また私は先ほど書いたTAPの授業関連でEducator Risingという教員を目指す人が参加するクラブに参加し、先生方から教師として大切なことなどの講演を聞いたりしました。3月上旬には教育に関する取り組みを発表する大会があり、私は学校の先生の授業を観察し、プレゼンにまとめて発表する部門に参加しました。スペイン語の先生の授業をトータルで8時間観察し、インタビューをしました。その先生はスペイン語を学ぶ上で、文化とコミュニケーションを大切にしている、その様子を授業で見とることができました。またテストにスピーキングも取り入れていたり、夏休みに生徒とその保護者を連れてスペインやヨーロッパ旅行を毎年しており、実践的だと思いました。この大会で私はその部門の1位をいただきました。そして全国大会の出場権を得ました。私が学びたいと思っていたことをたくさん学ぶことができ、とてもいい経験になりました。また、私の留学先の高校には私を含め、10人の留学生がいて、英語力が高い人たちばかりでした。みんなにアンケートに協力をしてもらい、それぞれの母国での英語の学習方法として、YouTubeで動画を見たり、学校でのスピーキングの時間が多いことなどを知り、日本でも取り入れたらいいなというところを見つけることができました。

今回の留学は私が目標としていたことができたと同時に、それ以上にたくさんのお話を吸収することができました。留学する前はいろいろな理由から行くか悩んでいましたが、貴重な体験ができ、留学してよかったなと心から思います。



山梨県若者海外留学体験人材育成事業（高校生コース）留学結果報告書

